

いつも一歩先を見る 先行投資で業務拡大。



吉田統括部長

豊橋管清株式会社

(愛知県豊橋市)

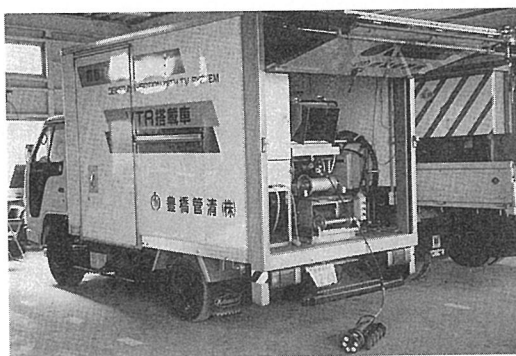
三河湾沿いに景観のよい海岸線を抜け、豊川の堤防近くに広い敷地を持つ豊橋管清株式会社を訪問し、吉田統括部長にお話を伺いました。

— 業務内容を教えてください。

吉田統括部長（以下吉田に略）「うちの管清という社名は読んで字の通りで管全般をきれいにしようという意味です。前会長が常に先を見る人で、これからは環境の時代になるんだということで、設立当時から産廃に関わってきました。当初は小規模に行っていたのですが、たまたま豊橋市から水道管の錆を除去してもらえないかという要請がありまして、当時豊橋には施工する会社がなかったんです。そこで当社は、その技術を取得し、必要な機械の購入と研究を重ねまして昭和53年からは主体を市の上水道管更生に大幅移行して、市内の65%の上水道管更生を行いました。なにしろ年間3億円の計画で10年間続けましたから、それがうちの基盤になりましたね。10年で終わることがわかっていましたので、8年目くらいから次は下水関連だということで、またその研究を始めました。」

— 絶えず先々を考えているんですね。

吉田「これはもう前会長の見極める力だと思います。現在は、長男の新社長の代になっています。新社長が着目したのが、掘り返しのできない老朽化した下水管の破損を補修するインパイプ工法でした。EX工法などが代表的なものです。施工方法はパイプの中に蒸気で柔らかくなったパイプを挿入して、エアで膨らませて管内で硬化させて、破損したパイプを内側からカバーする工法です。豊橋市を始め各自治体が下水管の補修をするという計画があり、さっそく機械を購入したんです。阪神大震災の時にも、こ



社名/豊橋管清株式会社 所在地/愛知県豊橋市吉前町字西吉前新田107-10
代表者/太田品孝 創業/昭和49年 従業員/23名 TEL/0532 (33) 3450
事業所/本社 営業種別/上下水道管更生工事、都市下水管清掃工事、路面清掃工事、収集運搬 取扱物品目/汚泥

のノウハウと機械を持っているのが当社だけでしたから、市から要請が来ました。直ちに2月には現地に入り、活動しました。後日、西宮市や豊橋市からも感謝され、役立ってよかったと思います。」

— 現在の自慢の機械といますと？

吉田「管の中を自走で進んで破損箇所を発見するTVカメラを装備した高感度管内検査システムのVTR搭載車(写真下)が、大活躍しています。ちょうど胃カメラの管版ですね。」

— これからの展望などを教えてください。

吉田「産廃は肩身が狭いなどという人もいますが、これからは堂々と胸を張ってやっていく時代ですね。先を見据えて先手、先手で行く。環境問題は、命に関わることです。住民と一体になり環境浄化の立場に立った視点で、進んでいこうと思います。微力ですが、住みよい豊橋の街創りにこれからも努力致します。」